

知的財産管理技能検定 合格報告書

九州大学大学院総合理工学府 **山本 圭介**

学習期間

約1ヶ月間

学習方法および内容

市販の参考書、問題集、および検定公式サイトで公開されている直近の過去問題

1. 参考書で勉強
2. 参考書に記載されている練習問題を解く
3. 問題集・過去問題を解く

という流れを、出題範囲全般に渡って行いました。

使用した参考書に記載されている練習問題だけでは数が少ないので、別途問題集も使用しました。

2級と3級の試験はかなりの範囲が重複

しているため、3級の受検でしたが2・3級両方に対応した参考書および2級用の問題集を使用しました。

あまり時間の無い人は、「1. 参考書で勉強」を省いて、「練習問題・過去問題を解く → 解答の際に解説をしっかりと読んで勉強 → 繰り返し」といった学習方法でも良いと思います。

これから受験される方へ

著作権法・特許法といった、法律の学習が必要となりますが、ある程度は常識的な判断から正答を導き出すことができます。

また、「この法律が何のために存在しているのか」という点をしっかりおさえておくとう学習しやすいと思います（例えば、特許

法は発明者の権利・利益を守ると同時に、産業の健全な発展を支えるために存在しているといった点、など）。

法律によって保護される権利の有効期限など、数字の暗記も必要となりますが、覚えておけば確実に正答できる部分なので、なるべく多く覚えておくべきです（私はこの点を疎かにしていたので、合格ラインギリギリでした）。

上記の点を抑えておけば、合格ラインの70点に届くと思います。

九州大学大学院総合理工学府 **荒平 高章**

知的財産特論の講義について

まず、知的財産について、初学に近い方々は、集中講義で開講されている「知的財産特論」の受講をお勧めいたします。実際の知的財産についてたくさん事例を挙げて説明してくれますので、大変参考になります。講義で、事例を学びつつ、講義外で基礎知識を勉強するという流れが、ひとつの王道だと、私は思います。人それぞれ、勉強のスタイルがあると思いますので、私が紹介するものは参考程度にしてもらった方がよいかもしれません。

受検に関して

知財検定を受検しようとしている方にとっては、すでに知られていることかもしれませんが、受検は学科試験と実技試験の2つで構成されており、それぞれの試験両方に合格することで初めてその階級の資格が得られます。学科試験は、知的財産に関

する基礎的知識を問う問題で、語句を問うものがほとんどです。また、間違い探しなどの問題も存在します。学科試験は、勉強すれば必ず合格できますので、不安がらずに不安を払拭するくらいの気持ちで臨んでほしいと思います。また、実技試験は、応用的な問題になります。実際起こりうる問題や会話、会社での対話など、さまざまな場面における会話の内容から、真偽を問うもので、自分の中にある知識と発言内容を照らし合わせることで正解を導く試験です。実技試験に関しては、もちろん基礎知識は必要ですが、知財問題について事例の記事を読んでいくことでよりイメージがつかみやすくなります。いずれの試験に関しても、継続して取り組んでいくことをお勧めします。

受検に関するアドバイス

今回合格した知的財産管理技能検定3

に、暗記したものを駆使して、実際の試験は正解を導いていきます。試験自体は3級においてはそれほど難易度の高いものではないかもしれませんが、覚えた知識を使って、知財に関する事例の選択肢から間違えたものや正しいものを選択する設問や、対話形式の問題で間違えた発言をしているものを選ぶなどといった専門性を要する問題も出題されるので、丸暗記では難しいと思います。しかし、覚えることは最低限必要なことなので、まずは基礎事項の暗記に取り組み、ある程度の知識が定着したところで、知財に関する記事や事例などに目を通して見て、記事の内容がおおよそ理解できるようになれば、前進している証拠です。繰り返しになりますが、知財検定を受検しようと考えている人は、継続して勉強しなければいけないということを十分に理解したうえで、勉強を始めてほしいと思います。一週間後で、前に覚えたことを忘れていくということが十分にあり得ます。

おすすめのテキスト

以下に私が知財検定の学習を進めていく上で、役に立ったテキストを紹介し

- 知的財産管理技能検定ガイドブック（知的財産協会）
この本は知的財産について試験範囲や試験勉強方法など、これから知財検定を受けようとする人向けに作られた本です。

- 産業財産権標準テキスト 特許編（社団法人 発明協会）
- 産業財産権標準テキスト 商標編（社団法人 発明協会）
- 産業財産権標準テキスト 意匠編（社団法人 発明協会）

以上の3冊は知財検定に必要な知識を網羅しており、随所に実例があるので、学科・実技の両方に効果が期待できるテキストです。

- 知的財産管理技能検定3級（知的財産教育協会）
このテキストは、上記の3冊の内容を凝縮して1冊にまとめているテキストです。上のテキストの内容ほど充実していませんが、最低限必要な知識はこのテキストで十分かと思えます。巻末に問題もあるので、反復して解くことで効果はあると思